

【Web開催】第29回 国公立大学情報システム研究会総会

活動報告

日時：2021年3月5日（金）13：30～17：25

場所：Web開催（自席から参加可能）

参加者数：68名

1. 総会内容

1. 議事において、下記議案が参加された会員より了承を得て可決された

1号議案 論文誌のWEB化と論文誌代徴収の廃止

- ・論文誌を冊子で発行せずHP上で発表
- ・論文代の徴収が不要となる（5千円/1機関）

2号議案 2019年度会計、2020年度執行状況の報告

3号議案 来年度繰越金の扱いについて

- ・2020年度繰越金は今後リアルな活動ができるようになった時に適宜活用する

4号議案 会則変更について

- ・論文誌代を徴収しないことにより、以下の通り変更する

以下第5条は全文削除

第5条（論文誌代金）

正会員は、本会より配布される論文誌代金として年額5,000円を納入するものとする。
ただし、本会の収入規模上、消費税納入を免除されている間は、消費税を請求・徴収しないものとする。

以下第12条は一部文言削除

第12条（会計）

1. 本会の経費は次の各号により支弁する。

- (1) 論文誌代金 ← 削除
- (2) 賛助会員からの賛助金
- (3) その他の収入

2. 発表について

論文（2件）、予稿（1件）、各ブロックからの事例発表（6件）

3. その他の連絡

- ・ホームページのリニューアルについて（3月22日より切替）
（見やすさ向上、メンテナンスの負荷軽減、セキュリティ強化など）
- ・メーリングリストの変更について

【事務局ML】

bureau@is-ken.gr.jp



fj-isken-bureau@dl.jp.fujitsu.com

【会員ML】

member@is-ken.gr.jp



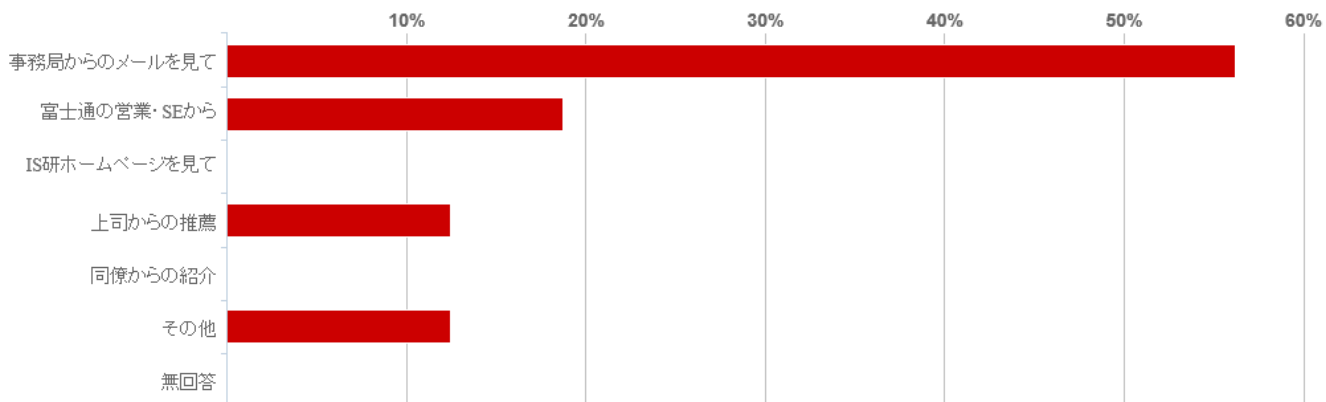
fjuser-isken-member-external@ml.css.fujitsu.com

2. スケジュール

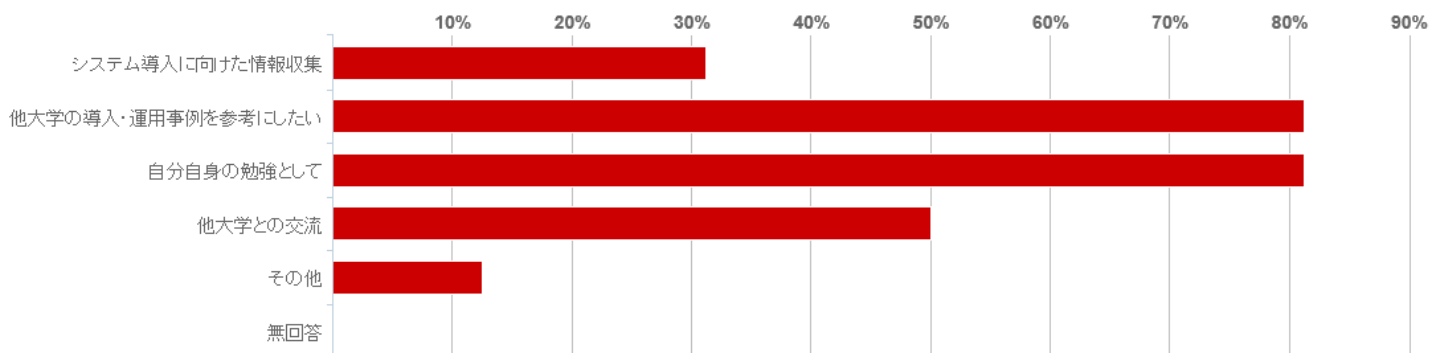
時 間	内 容
13:30～ (5分)	開会挨拶 IS研会長 大分大学 教授 吉田 和幸
13:35～ (5分)	議 事 IS研事務局
13:40～ (30分)	【論文①】 「コロナ禍におけるオンライン授業の実践」 宮崎大学 情報基盤センター 准教授 青木 謙二
14:10～ (20分)	【東北・関東ブロックからの事例発表】 「2020年・令和2年度 横浜国立大学の情報化の取り組み」 横浜国立大学 国際戦略推進機構 学長特任補佐 徐 浩源
14:30～ (20分)	【北海道ブロックからの事例発表】 「IS研北海道地区ブロック活動報告」 室蘭工業大学 情報教育センター 教授 桑田 喜隆
14:50～	休 憩 (10分)
15:00～ (20分)	【北陸ブロックからの事例発表】 「北陸ブロック活動状況」 金沢大学 総合メディア基盤センター 准教授 井町 智彦
15:20～ (20分)	【東海ブロックからの事例発表】 「東海国立大学機構岐阜大学における情報環境の変化について」 岐阜大学 情報連携統括本部 教授 村上 茂之
15:40～ (20分)	【近畿ブロックからの事例発表】 「兵庫県立大学 情報関連システムのここ一年」 兵庫県立大学 学術総合情報センター 准教授 林 治尚
16:00～	休 憩 (10分)
16:10～ (20分)	【九州ブロックからの事例発表】 令和2年度版「長崎大学ICT基盤センターの近況報告～コロナニモ負ケズ～」 長崎大学 ICT基盤センター 准教授 上繁 義史
16:30～ (30分)	【論文②】 「拠点の温度異常検知システムの構築」 福井大学 総合情報基盤センター 吉川 雄也
17:00～ (20分)	【予稿】 「情報セキュリティ教育におけるゲーミングアプローチの可能性」 横浜国立大学 都市科学部 采女 健太
17:20～ (5分)	閉会挨拶 IS研議長 横浜国立大学 国際戦略推進機構 学長特任補佐 徐 浩源
17:25	閉 会

3. アンケート結果【回答数16】

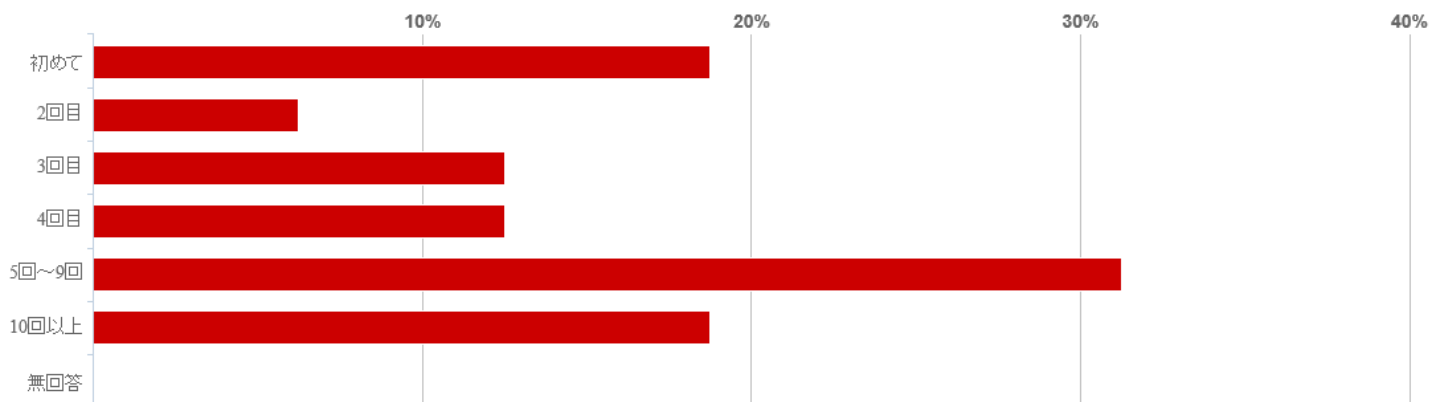
【Q1】IS研総会に参加しようと思ったきっかけを教えてください。



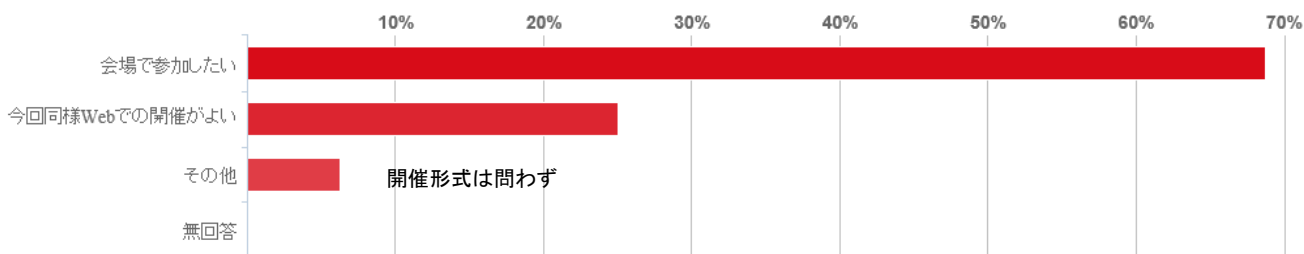
【Q2】総会への参加目的を教えてください。



【Q3】IS研総会への参加は通算何回目ですか？



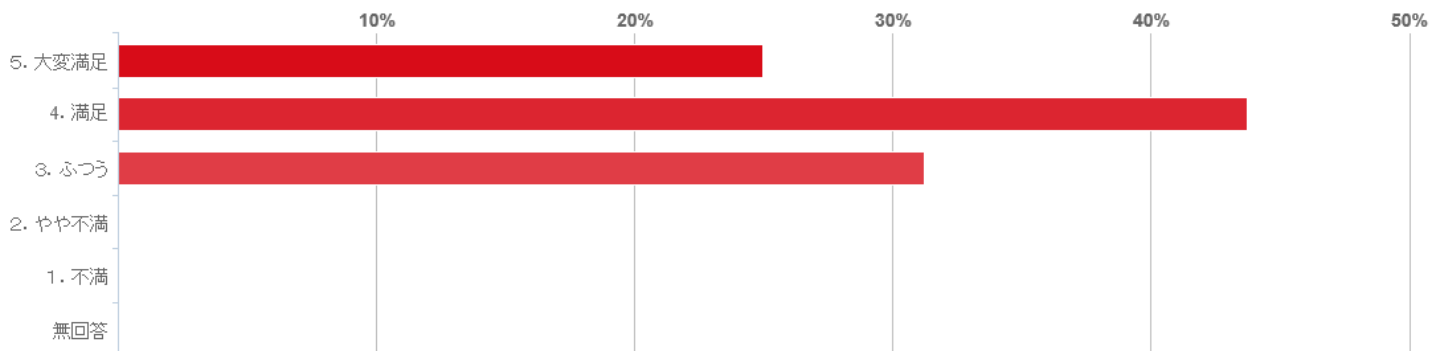
【Q4】今後のIS研総会の開催方法について以下よりお選びください。



【Q5】上記を選んだ理由を、具体的にお書きください。

- ✓ COVID-19の状況により、予断を許しませんが、直接会って対話することで理解が深まっていくものと思います。
- ✓ F2Fの会議の方が情報が伝わりやすいため。
- ✓ 交流の面では、対面の方がよい
- ✓ 他大学の方と交流する貴重な機会であるため。
- ✓ 出張費が必要ないので。
- ✓ 形式にこだわる必要がないので
- ✓ 会員との情報交換が容易に実現できること 取り組んでいることが発展する可能性があること
- ✓ 移動時間がなく前後の時間で業務が行えるため。
- ✓ オンライン開催は参加は楽なのだが他の仕事が割り込むことが多く集中して聞けないため。またオンラインではオフレコの話が聞きにくい。
- ✓ 移動時間および出張経費の削減できるため。
- ✓ 参加しやすいため
- ✓ 雑談時の情報交換は、貴重です。
- ✓ 他大学との交流が難しく、情報交換もしにくいから
- ✓ 基本は会場参加。どうしても現地会場参加に都合が悪い場合はWebにて参加できる選択肢があったほうが宜しいと思います。
- ✓ Webでは発表以外での情報交換が難しいから。
- ✓ オンラインだけでは得られない情報もあるから。

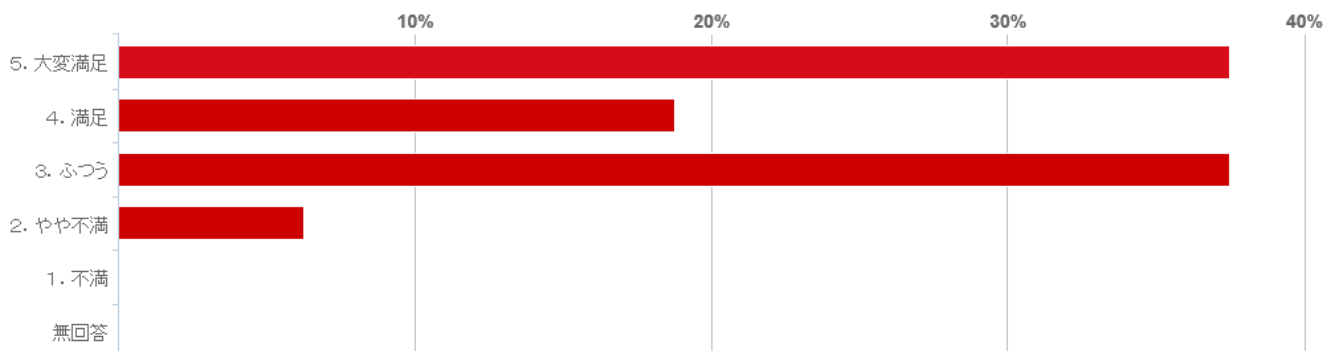
【Q6】本日の「プログラム内容全体」についての満足度をお選びください(5点満点)



【Q7】上記のような評価をされた理由を、具体的にお書きください。

- ✓ 会合の準備，運営など大変だったかと思ひます。ありがとうございました。
- ✓ 有益な情報交換ができた
- ✓ 有意義な発表を聴くことができたため。
- ✓ 皆さんの日々の努力が伝わってきて勉強になりました。
- ✓ いろいろな情報を収集できた
- ✓ 会場で会合するメリットがなかったから
- ✓ 参考になったり共感するものがあつた一方、本学での適用はない、どちらかというど並行して別の講演があれば、最初からそちらを聞いていたと思われるものもあつたため。
- ✓ 内容に対して適切に構成されていた。
- ✓ 他大学の取り組みを知れたため
- ✓ もうちよつと、論文発表が増えるとうれしい。
- ✓ メンバー間の直接交流があればなおよいではないかと思ひます。
- ✓ 内容的な点では、どのご講演も有益な情報・知見が得られ有意義だったのですが、スケジュール的に少しタイトな印象を受けました。

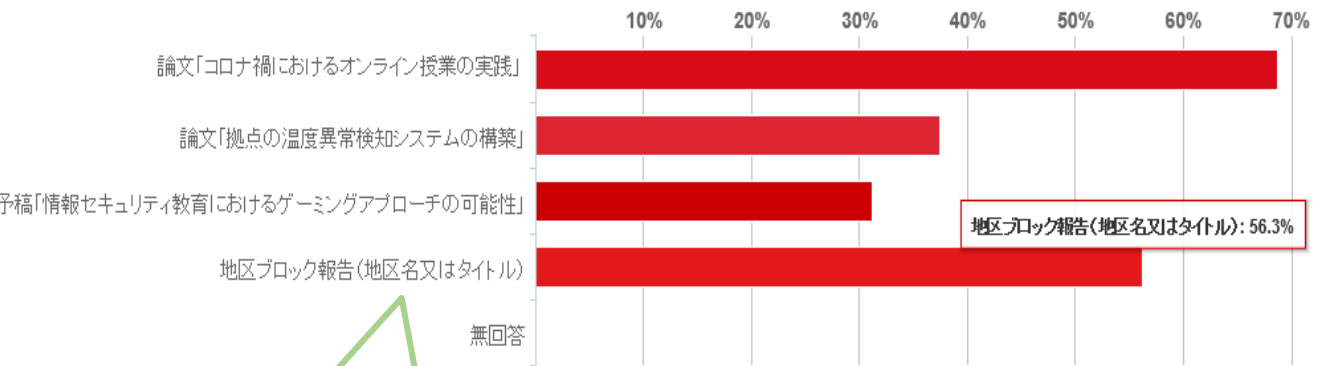
【Q8】本日の「プログラムの時間配分」についての満足度をお選びください。(5点満点)



【Q9】上記のような評価をされた理由を、具体的にお書きください。

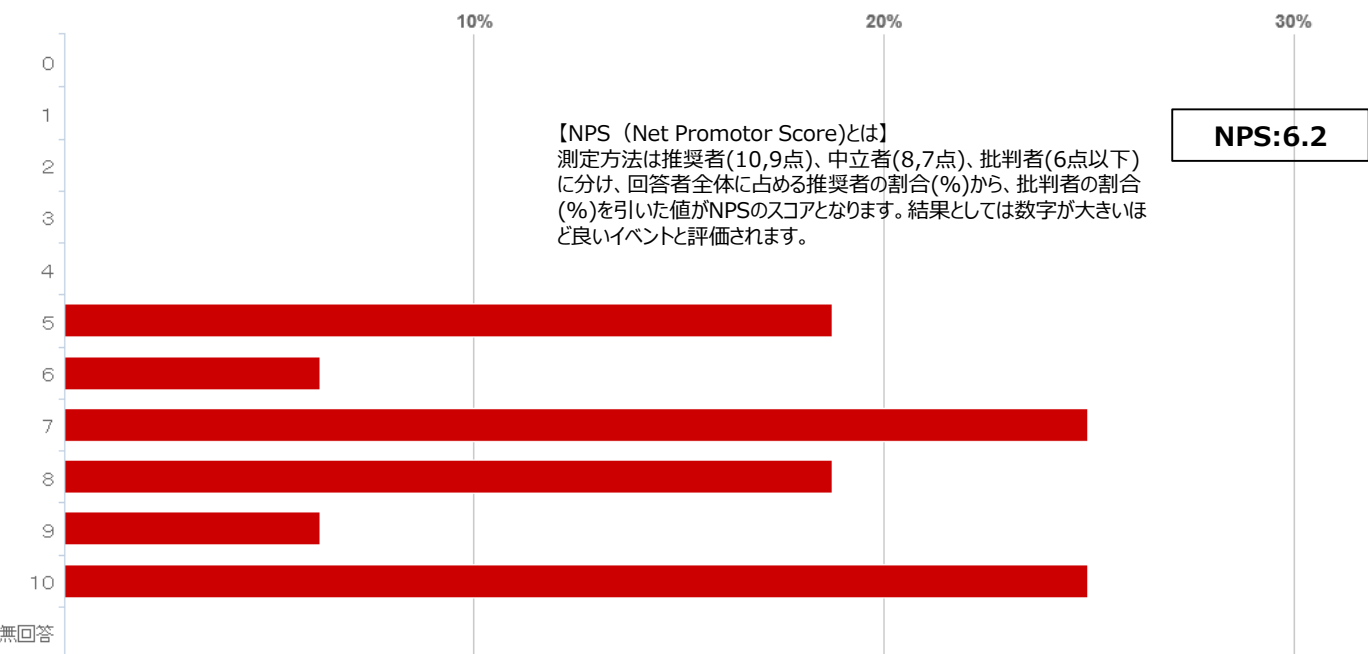
- ✓ 結果オーライとの印象です。
- ✓ 長すぎず短すぎずでよい
- ✓ 飽きずに聴くことができたため。
- ✓ 初参加なので、こんな感じのかな、と認識できました。
- ✓ 特に理由はありません
- ✓ [満足]以上との回答には必須項目としないでください。
- ✓ 少し押ししたがおおむね時間内に終わったため。
- ✓ 時間通りに終了したため
- ✓ 午後の時間にピッタリ収まりました。休憩がもうちよつと長くても良かった。
- ✓ 午後のみで開催であるため、今の時間配分はよいと思ひます。

【Q10】有益又は、参考になった発表を教えてください（複数回答可）



- ✓ 東海地区
- ✓ 東北・関東B、北陸B、東海B、近畿B
- ✓ 全体的に(コロナ対策関連)
- ✓ 東海ブロックからの事例発表
- ✓ 全て
- ✓ 北海道、東海

【Q11】今回の総会を、どのくらい他の人に推奨したいとおもいますか？ 0(おすすめしない) ～10(おすすめしたい)



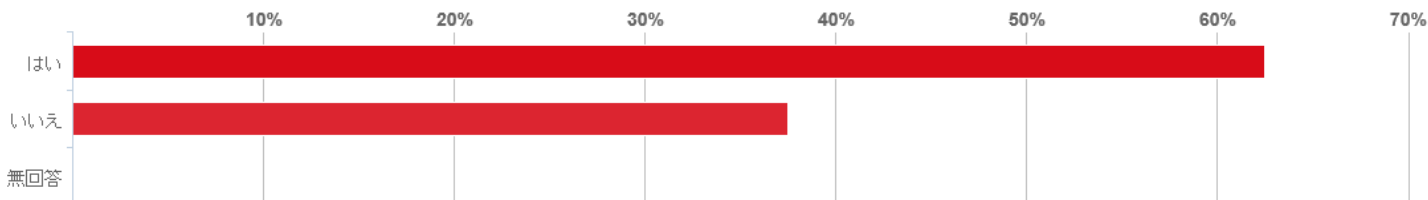
【Q12】上記のような評価をされた理由を、具体的にお書きください。

- ✓ やはり情報系センターの業務に携わる人には積極的にお勧めしたいです。
- ✓ なかなか他の大学の事情を聴く機会がないため。
- ✓ 他センターの情報を収集できたので
- ✓ 現場に近い情報が収集できる
- ✓ コロナ禍における授業実践例はあまり参考にならなかったから
- ✓ 参考になったり共感するものがあった一方、本学での適用はない、どちらかというと並行して別の講演があれば、最初からそちらを聞いていたと思われるものもあったため。
- ✓ 大学情報システムの運用や業務に参考になりそうな内容が多いため
- ✓ 学生としてもタメになったため
- ✓ 情報系センターの運用に関する事例発表がある
- ✓ IS研の活動や内容をもっといろいろな方に知ってもらいたいと思います。もっとメンバーを増やすべきです。
- ✓ 情報センター関係者にとって有益な最新情報が得られるため。

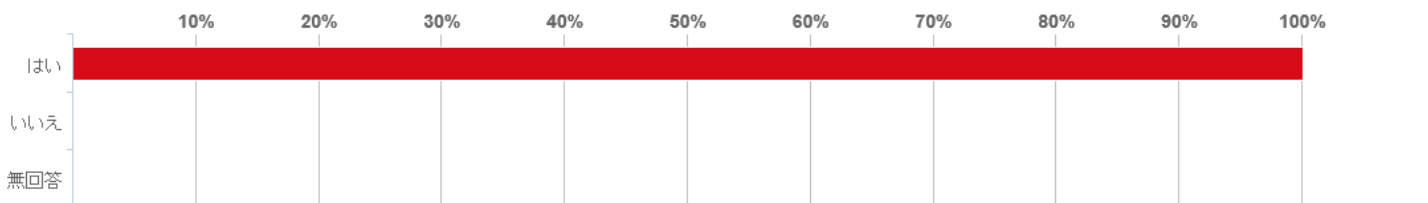
【Q13】本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。

- ✓ オンライン授業についての情報等
- ✓ 私は発表したので、何より、自分の経験値が上がったことが1番の成果であると考えています。
- ✓ コロナ対策
- ✓ 遠隔講義のあり方など、参考になる情報があった
- ✓ 名古屋大学と岐阜大学の統合関係の話題
- ✓ 各大学のzoomとwebexの使用状況
- ✓ 今後、日本の大学のデジタルキャンパス化の課題、特にコロナの対応経験、ニューノーマルの対応、情報セキュリティの対応などの課題があります。
- ✓ 特に、他大学でのコロナ対応が参考になった。

【Q14】これまでにあなたは同僚や他人にIS研のイベントへの参加を勧めたことがありますか？



【Q15】今後、機会があれば同僚や他人にIS研のイベントへの参加を勧めますか？



【Q16】IS研について、「こういう風になると良い」「もう少しここをこうして欲しい」等のご意見ご要望がありましたら、自由にご記入ください。
例) イベントの内容、会の進め方、推進体制、事務局運営、等

- ✓ Q15 では「はい」と書いたものの、総会で予算等の話があり参加資格や費用があるようで、興味を持ちそうな人を任意に呼んでいい集まりには見えない。そのあたりは藤村先生から何も聞いておらず、私には IS 研の参加費を大学やセンターとして支出する権限はないので、大学のどの立場の人が参加する事が想定されているのかがよくわからない。センター長的な人が期待されているのか、現場の人なのか、両方なのか。
- ✓ 会員間の意見交換や課題議論の場となるように、関係者間の連携、事務局の支援が一層必要になると思います。
- ✓ 今回は半日での実施でしたが、今後は以前のように 2 日間での開催に戻ってほしいと考えています。

4. 参加機関人数

・IS研会員 [18校28名] ・オブザーバー[2校2名] ・富士通関連[2社38名] ・総数[68名]

IS研会員校		オブザーバー		富士通関連	
室蘭工業大学	1	東洋学園大学	1	富士通株式会社	37
山形大学	1	文化学園大学	1	富士通関西中部ネットテック株式会社	1
お茶の水女子大学	2		2		38
横浜国立大学	2				
金沢大学	3				
北陸先端科学技術大学院大学	2				
福井大学	3				
岐阜大学	1				
大阪教育大学	2				
大阪府立大学	1				
兵庫県立大学	1				
島根大学	1				
九州大学	1				
九州工業大学	1				
長崎大学	2				
熊本大学	1				
大分大学	2				
宮崎大学	1				
	28				

事務局所感

今回も、昨年に続きon-line開催となりましたが、会員の皆様もこの1年でon-lineのノウハウを習得されてた様子で段取りよく順調に進行できました。各大学でのコロナの影響による苦勞話や授業方法の事例は興味深く、参加された皆様と共に共感や気づきを得られるものがあり、非常に有意義な時間となったように思います。またプログラムの前半、中盤、後半にそれぞれ司会役を世話人先生にご担当していただいたことにより、発表後の質疑応答が活発となりました。次回以降、感染状況が落ち着きましたら、また会場での開催をしたいと思いますが、on-lineも併用していきたいと思ひます。